

東海地区

# 学校事務会報

第141号

令和7年1月30日

発行：東海地区公立小中学校事務研究会

<http://toukaijimuken.sakura.ne.jp/>

今年度、開催されました愛知県・三重県の研究大会の概要と参加者報告、岐阜県研修会・静岡県の研究大会（オンライン）の概要を紹介いたします。

## 【愛知県公立小中学校事務研究大会】

1 期日 令和6年10月23日（水）

2 会場 岡谷鋼機名古屋公会堂（名古屋市公会堂）

3 大会テーマ つなげよう 人と組織と地域を 子どもたちの未来へ

4 目的

子どもたちの笑顔あふれる学校づくりを実現するため、地域・学校内での協働、新たな学校事務を創造し、具体的な実践を発信することで、会員の資質向上を図り、学校教育に寄与する。

5 内容

(1) 講演

講師 AI 研究家 大西可奈子 様

演題 AI 時代を生き抜くための道標

(2) 支部発表

(前半) 新城支部

テーマ しんしろほくせつ・学校スマイルプラン

ーチームとしての学校づくりを支えるための持続可能な研究活動ー

(後半) 豊田支部

テーマ 行動しよう！挑戦と実践「豊田事務研アクションプラン」

ー教育活動と経営活動をつなぐ学校事務職員をめざしてー



～他県から愛知県大会に参加して～

午前の講演では、AI についての特性や、最終的には人が担う必要があるということ AI を生かしていくには、的確に AI に伝えるコミュニケーション能力が大切であると学びました。午後は2つの支部から実践報告があり、学校をよくしていくための多職種との協働や、こちらが求めなくても職員が自主的に動いてくれる立ち回りなどの紹介がありました。【三重】

午前の講演では、AI が身近に溢れており、普段から意識せず活用していることに気づかされました。午後の支部発表では、参加者からのアンケート結果をリアルタイムで表示させることにより、会場を巻き込みながら、一緒になって発表を組み立てていく手法に、テクノロジーの進化や新しい感性により、発表方法も変化してきているのだと感じました。【三重】

## 【三重県公立小中学校事務研究大会】

- 1 期日 令和6年10月24日（木）
- 2 会場 三重県男女共同参画センター 多目的ホール
- 3 大会テーマ 子どもの豊かな育ちを実現する学校事務
- 4 目的



学校事務職員の役割を考え、自らを高め合い、地域と職場に根ざした主体性ある学校事務を追求する

### 5 内容

#### (1) 講演

講師 岩手大学大学院教育学研究科 教授 福島 正行 様  
演題 「求められる学校事務職員像」と人材育成・資質向上

#### (2) 研修講座

中央研修還流報告 四日市市立三重小学校 主査 加藤 貴久 様  
能登半島地震復興支援報告 三重県災害時学校支援チーム隊員

#### (3) 支部実践レポート発表 年次テーマ【資質向上・人材育成】

伊賀支部 「めざせ！資質向上！自分の強みを出しつくせ！」  
鈴鹿支部 「共同実施組織を通じた事務職員の資質向上」  
尾鷲支部 「子どもの育ちを支援する学校事務を目指して」  
津支部 「情報の活用」  
熊野支部 「文書管理についての現状と課題」  
松阪支部 「明和町共同実施グループでの ICT 研修について」



～他県から三重県大会に参加して～

「求められる学校事務職員像」と人材育成・資質向上の講演を受け、調整的業務・企画的業務・統括的業務で教員や管理職と関わりを持つことで定型的業務も磨きが掛かるという言葉が印象的でした。また校長・教頭マネジメント支援員の採用が始まった県があるとのことで、事務職員にとって、より学校経営に参画できるチャンスになると思いました。改めて、自分に何ができるのかを振り返る良い機会となりました。【静岡】

午前の講演では、「求められる学校事務職員像」の観点から学校教育改革の情勢を知り、自校の教育目標を踏まえて、学校経営参画について考える機会になりました。午後のグループ討議では、各支部の実践から課題に対する意見や取り組み方を熱心に情報交換している姿に刺激を受け、有意義な時間となりました。【静岡】

## 【岐阜県小中学校事務職員秋季研修会】

- 1 期 日 令和6年10月25日（金）～11月22日（金）
- 2 開催方法 研修動画視聴（県内事務職員対象）
- 3 大会テーマ 子どもの豊かな育ちを実現する学校事務  
－校務運営への参画を支援する共同学校事務室の機能強化－
- 4 目 的 事務をつかさどる職として、時代の要請に応えられる学校事務を確立する。
- 5 内 容

(1) 【事務の日セミナー】事務の日ラウンドテーブル

「若手事務職員に必要な資質・能力とは」と「共同学校事務室に期待すること」をテーマ  
に対話形式にて

各教育事務所 学校職員課 管理調整係 6名

(2) 【室長等リーダー研修】室長等リーダー研修講話動画

「これからの学校における学校事務と事務職員の役割」

三重県松阪市立飯高中学校 主査 西井直子 様



## 【静岡県公立小中学校事務研究大会】

- 1 期 日 令和6年8月8日（木）
- 2 開催方法 リアルタイム配信  
※大会終了後、令和6年8月23日(金)までオンデマンドによる配信あり。
- 3 研究主題 「子どもの豊かな育ちを支援する」  
～つかさどろう！未来につながる“今”を考える～

4 日 程

- (1) 県研究推進委員報告
- (2) 基調提案・実践発表
- (3) 座談会

5 内 容

『子どもの豊かな育ちを支援する』ために日々の仕事に取り組む中で、小笠・榛原地区では、「教員が子どもと向き合う時間の確保」と「事務職員の学校経営参画」が重要だと考えました。この二つの課題を解決するため令和4年度から静岡県の指定を受け研究を進めている「学校事務の再編」を一つの機会ととらえ、個人や共同学校事務室で研究に取り組んできました。研究内容は、「教科書事務」、「教頭・教務主任の事務負担軽減」です。「教頭・教務主任の事務負担軽減」では、主に週予定の共同入力や出退勤システム管理の補助を行って教員の負担軽減を目指しています。

座談会では、若手、中堅事務職員が今までを振り返り、校長、教頭、ベテラン事務職員の学校事務に対する思いを受け、これからの学校事務のあるべき姿を考えました。



## 《研究部》

11月25日（月） オフサイトミーティングをおこないました。

オフサイトミーティングとは

オフサイト（off-site）「現場から離れた」場所で会議を行うことを指します。

「気楽に、真面目な話をする」場として、リラックスした開かれた雰囲気です。率直な意見を出し合い、新しい発想の下、チームの強化や課題解決等を目的とした会議手法です。

東海事務研の研究推進のキーワードである「つながり」から、東海地区各県の研究会における課題やその対応について話し合い、考え方を共有することを目的とし、各県のつながりを持ちながら、それぞれの課題に対する新たな気づきのきっかけづくりの機会となりました。

詳細は研究部報で！



（オフサイトミーティングの様子）

次号（第142号）は令和7年度東海大会（大垣大会）PRです！